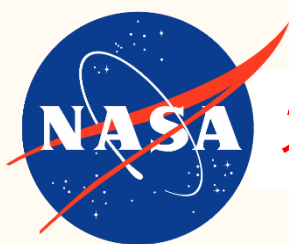


# 第1回 NASA オンライン研修



アメリカ大使館主催 オンライン・ウェビナー

- ◇日時 : 2021年5月24日(月)  
午後6時30分から(自宅から参加)  
午後7時30分まで(日本時間)
- ◇講師 : ローリー・グレイズ博士  
【NASA 惑星科学部門ディレクター】
- ◇テーマ : NASA 科学者に聞く  
惑星科学分野への歩み
- ◇司会 : 藤井友香 博士  
【国立天文台 科学研究部 准教授】
- ◇使用言語 : 日英同時通訳あり , 日本語字幕あり
- ◇参加費 : 無料

## 参加登録

次の2日の放課後、**第2物理教室**のPCから参加登録を行います。

都合のよい日、時間に来てください。

○**5月20日(木)** : 避難訓練・終礼の後

○**5月21日(金)** : 放課後

## 事前研修(希望者のみ)

可能な場合は、ぜひ事前研修にも参加してください

日時 : 5月24日(月) 16:30から17:00ごろ

場所 : 第2物理教室 講師 : 白神陽一郎

## 問合せ

**アマキ・サイエンス・サロンのスタッフ**

もしくは、物理準備室まで

## 【講師略歴】

**ローリー・グレイズ博士 NASA 惑星科学部門ディレクター**

NASA の科学ミッション局の惑星科学部門のディレクター

惑星科学とは、生命を支えることができる（または過去に持つことができた）惑星環境の理解を含む、太陽系の形成と進化の基本的な問題に取り組む宇宙飛行ミッションと科学研究のこと。

それ以前は、メリーランド州グリーンベルトにあるゴダード宇宙飛行センターの惑星地質学、地球物理学、地球化学研究所の責任者、およびゴダードの太陽系探査部門の副所長を務める。

研究対象には、地球および惑星の火山学における物理的プロセス、大気の輸送および拡散プロセス、地質学的な質量移動が含まれており、すべての地球の太陽系体、特に地球、金星、火星、月、およびイオの表面プロセスのデータ分析と理論的モデリングに焦点を当てた活動を行っている。また、物理プロセスモデリングをサポートする統計、分析、およびデータ管理方法を開発し、地上および惑星のリモートセンシングデータの多様なセットのアプリケーションを開発に携わっている。

グレイズ博士は、最新の惑星科学 10 年調査で内惑星パネルのメンバーであり、NASA の金星探査分析グループ (VEXAG) の実行委員会に数年所属し、2013 年から 2017 年までグループの議長をも務めている。また、2011 年から 2013 年まで惑星科学小委員会のメンバーでもある。

さらに、金星旗艦科学技術定義チーム (2009) のメンバー、金星モバイルエクスプローラーの科学チャンピオン (2010)、ヴィーナスイントレピッドテセラランダー (2010) の共同科学チャンピオンなど、NASA が後援する多くの金星ミッションコンセプトの定式化研究に携わる。本社に移るまで、希ガス、化学、イメージングの深層大気調査 (DAVINCI) の主任研究員を務める。

米テキサス生まれ。テキサス大学アーリントン校で物理学の学士号と修士号、英国のランカスター大学で環境科学の博士号を取得。ジェット推進研究所およびプロキシミーリサーチで副社長兼上級研究員としての活動も行ったことがある。

## 【司会者略歴】

**藤井友香 博士 国立天文台科学研究部 准教授**

2013 年 3 月、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻修了、博士 (理学) 取得。

東京工業大学地球生命研究所 ELSI にて研究に従事した後、2015 年 11 月より 1 年半、NPP fellow として NASA Goddard Institute for Space Studies に滞在。帰国後、東京工業大学地球生命研究所 ELSI 特任准教授を経て現職。